

~~~~~  
通常、「全ク連情報」は組合理事長等役員の皆様向けに毎月3回発行しておりますが、緊急時ですので、特別編集とし、各組合及び当連合会の状況等についてできる限り正確な情報、また被災された組合員の皆様の励みになるような情報の発信をしていく情報媒体といたします。現状で本紙を目にいただける組合員の皆様は比較的被害が小さかった方々とは存じますが、ご理解をお願いいたします。

~~~~~  
**●全国クリーニング生活衛生同業組合連合会会長・青山亨からのお見舞の言葉**

はじめに、今回の東北関東大震災で被災されました組合員の皆様、クリーニング業界の皆様にご心よりお見舞申し上げます。このような状況ですが、お力落としのなきようお願いいたします。

刻々と変わる情勢をマスコミ等で見ていますと、事態は深刻化を増していると言わざるを得ません。我々全国クリーニング生活衛生同業組合連合会といたしましては、被災された組合員の皆様に対しまして、仲間としてどのような手助けをさせていただけるかを冷静に見極め、厚生労働省並びに財団法人全国生活衛生営業センター等の関係機関と連携をとりながら、具体的方策を立てていきたいと考えております。そのため、明日16日(水)に緊急の三役会を開催いたします。そこでの決定事項をできるだけ早く実行できるよう、進めてまいりたいと考えております。

全国の組合員の皆様にも、今後具体的なお願いをすることになると思いますが、その節には同じ組合の仲間の窮状をご想像いただきまして、できる限り最大限の支援をお願いいたします。

全国の組合理事長様からは「何かできることはないか?」と、お問合せを数多くいただいております。現在、被災各地との連絡をできるだけ密にし、被災組合員の皆様の把握に努めております。しかし、ご存知のように現場は混乱しております。

今回、災害に遭われなかった地域、また比較的被害が軽度であった地域の組合員の皆様におかれましては、今実行可能な被災地支援にぜひとも取り組んでいただきたいと思います。その1つには節電があります。自分ができること全てに取り組んでいただきまして、直接的・間接的に被災組合員さんを支援してください。よろしくようお願いいたします。

**●東北関東大震災に関する組合や全ク連の動き**

**14日(月)現在の被災が大きかった組合の状況**

報道されている範囲で、被害が大きかった青森・岩手・宮城・福島・茨城の各組合を中心に電話連絡を14日(月)に行なった。

青森県＝事務所と連絡。大海事務局長。事務所は、かろうじて業務ができる状態。組合員さんの安否確認に重点

岩手県＝事務所と連絡。樋沢職員。事務所は、かろうじて業務ができる状態。組合員さんの安否確認に重点。クリーニング技術部会会議で東京出張中だった古澤理事長は無事、大船渡に帰還(別記事参照)

宮城県＝鎌田理事長と連絡。組合事務所は浸水した。また立ち入り禁止のため入れな

い

福島県＝事務所と連絡。大内事務局長。事務所は、かろうじて業務ができる状態。組合員さんの安否確認に重点

茨城県＝森本理事長と連絡。緊急事態で危険を伴うため職員は自宅待機させている。

今のところ大きな被害は聞いていないが、引き続き県内の安否確認を行なう

#### クリーニング技術部会の会議中に地震発生

平成 23 年度のクリーニング技術部会の活動方針等を検討するための「クリーニング技術部会常任幹事会」が、3 月 11 日（金）、全国クリーニング会館で開かれていた。＝（古谷部会長（全ク連）、古澤（東北）・馬場（中青会）各副部会長、野田口（北海道）・八幡（関東甲信越）・萩原（東京）・鶴田（神静）・田中（東海北陸）・前田（近畿、小倉氏代理）・大本（中国）・中川（四国）松山（九州）各常任幹事）

地震発生時刻と言われる 14 時 46 分頃は、まさにこの会議中で、大きな揺れが約 90 秒続いた。その後余震 2 回。目の前の四ツ谷小学校には地域住民が続々と避難してきて、常任幹事会も一時中止し、テレビの報道で東北地方の惨状を知ることとなった。帰宅が不可能との予測の元、急遽、都内にホテルを確保した。

地震発生後から、古澤副部会長の地元・岩手県大船渡市の惨状がテレビで伝えられ、ご家族との連絡が一切取れない中、翌日 12 日（土）、テレビ画面にたまたま地元本社が映り店舗は無事であることを確認。さらに 13 日（日）には J R や車等を使い継いで現地を目指している最中、衛星電話を通じて、ご子息から連絡が入り無事であったことを確認した。その後、大船渡に到着した模様。

話は戻るが、常任幹事会の当日、東京の萩原幹事は練馬区の自宅に帰宅できると予想していたものの、人と車が道路を埋め尽くす中、公共交通機関もダメ、タクシーもダメ、という状況であり、全国クリーニング会館に一時避難。東京メトロ（地下鉄）がやっと動き出し、午後 10 時頃全ク連職員と会館を出発したが、自宅に着いたのは午前 3 時を過ぎていた。

また職員のほとんどはこの日、帰宅できず会館で待機した。

#### 青山会長と緊急打ち合わせ

3 月 14 日（月）、青山会長と柴田専務理事、金子事務局長、小野所長代行ほか出勤できた職員数名で今後の被災地への支援策等について協議。高田・佐藤・小池各副会長と電話連絡をし、16 日（水）に緊急の三役会を実施することを決めた。

この協議中、財団法人全国生活衛生営業指導センターの小宮山専務理事が全国クリーニング会館を訪れた。小宮山専務は被災されたクリーニング業者へのお見舞いを青山会長に述べると共に、近日中に厚生労働省と各生衛業の全国連合会代表との会合を開き、生衛業ができる被災地への支援策等を協議したい、とした。

また出勤した職員を中心に各地の情報収集にあたった。

《各種情報を発信中です》

全ク連ホームページ <http://www.zenkuren.or.jp/>

全ク連ツイッター <http://twitter.com/zenkuren>